

ナミオ君が抱える 闇

ナミオくんは闇におびえていた。

それは、闇を武器にするナミオくんが作り手だからだ。

あっという間に魅力的作品が作れてしまう。

ナミオくんは凄腕の絵描きなのだ。

幸い買ってくれるお客さんも、それなりにいる。

ナミオくんはその闇。闇という表現をすると怖いなら
一種の内向性というか。

それを武器にしているわけだから、

でもそこから逃げたくなるのだ。

そこにいたいと自分で言っているのに、

闇から逃げたがっている。

これではまるで子供のワガママである。

だからナミオ君は、闇が怖いと言いつけなければならない苦しさがあった。

体験版は以上になります。ご読了ありがとうございます。
した。